



パワー浜松ロータリークラブ週報 2014年11月18日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Way を確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第557回例会 11月18日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 西尾文克、鈴木和行 ●点鐘: 鈴木利和 ●ロータリーソング: 奉仕の理想
- ゲスト: 内山緑様・米山記念奨学生 暢婉君さん
- 議事: 広報委員会 内山緑様卓話「浜松 この30年、—取材の体験から」

<出席報告> 本日出席率68名 83, 95% 前々回出席率85, 37%



■会長挨拶

改めましておはようございます。

今日はパワーロータリーの昔のメンバーでありました、内山緑さんが卓話をしてくれるということで楽しみにしております。どうぞよろしく願い致します。暢婉君さん、ごゆっくりお過ごし下さい。

初めての挨拶で非常に舞い上がっておりまして、昨日から何を話せばいいかを考えておりました。会長が建築屋なので私もそれで呼ばれたのかなと思いますので、少し建築の話をしたと思います。

今、省エネ住宅とかいろいろな住宅、色々ありますけれど、一番大変なのは断熱保温材などの身をかためる、蓄える、そういうことですね。私も少し考えてみました。

我が家はお金を貯めるのが下手で出てばかりで放熱状態、クーリングしております。やっぱり貯める、蓄える、それも長期間・長時間貯めておくというのは大変なことだと思います。今日のゲスト内山さんなどもメタコンなどたくわえる量が多いと思います。なおかつそれを大きくしていくという事が出来るということですね。ここにいる皆さんは経営でいっぱいおられると思いますが、会社を大きく育てるためにも、蓄えるという事が重要になってくるかと思えます。私もクーリングばかりしている訳ではなくて、ホットな事に行動を移していきたいなと思っています。

今日はこれで失礼致します。ありがとうございました。

■幹事報告

■委員会報告

■スマイル

小澤邦比呂:

16日に開催されました地区大会において台湾米山学友会のメンバーでありますファン・イン・チーさんにスピーチをして頂きました。3日間共に活動させて頂きましたが、大変学ぶところが多く充実した3日間でした。素晴らしいご縁に感謝いたします。

内山緑さんお久しぶりです。お元気そうで何よりです。本日は早朝よりありがとうございました。

山本英夫:

台湾の友人の関係で、台湾の私立専門大学に招かれて「〇△□の経営」を講演させて頂くことになりました。12月6・7・8日と1日6時間、3日間のハードな内容です。これがキッカケとなって「〇△□の経営」広がれば幸いです。

滝浪寛:

ハッピーバースデーお祝いいただきありがとうございます。

牛田悟:

郵便局の牛田です。今年も年末が近付いてまいりました。年末と言えば年賀状の準備ですね。年賀状のご注文承ります。本日配布させて頂いた申込書にご記入の上、お渡しいただければ次回、次々回の例会にてご用意できます。他にお付き合いもあるかと思いますがよろしく願いいたします。

寺田洋平:

11月16日、偶然にも地区大会の日と重なりましたが、アビーラ・トゥール教会におきまして無事結婚式を終えることができました。これから頑張ります。

■ 議事

浜松中 RC 会長 川井啓介様

みなさん、この度はおめでとうございます。RC 拡大委員会のメンバーのひとりとして、このクラブが順調に成長していることを大変嬉しく思います。当時の思い出を今一度お話ししてみたいと思います。当時、中ロータリークラブの創立記念事業として 10 年にハーモニー RC、15 年にパワー浜松 RC を作ったわけですが唐澤特別代表にご尽力いただきました。3 月に声がかかり、10 月には設立するんだ！と我々に鼓舞するも、どんなクラブにするのか？どんなカタチでメンバーを集めるか？何から手をつけたら良いのか分からない状態からのスタートでした。そんな中で 91 名をリストアップ、初代会長を秋山さんをお願いし、7 月に了解を頂きました。それからキーメンバーとなる 18 名が決まった次第です。多くの方の大変な努力のおかげで誕生したロータリーに参加することは豊かな人生づくりの一助になるはずです。どうかロータリーを通じて、仲間作りをさらに広げていただきたい。人生は友人作りの旅でもあります。パワー浜松 RC とともにさらに拡大、充実した毎日を皆さん過ごされまうよう祈念しお祝いの言葉といたします。

浜松中 RC 幹事 眞瀬悦邦様

唐澤さんのご縁でロータリークラブに入会しました。私事になりますが、土曜日から日曜日にかけて 100 キロウォーキングに挑戦し、完歩いたしました。朝 8 時 40 分にスタートし、翌日の 12 時 40 分にゴール。その時に思い感じたことは「身体が丈夫で良かったな」「当日のボランティアの皆さんへの感謝」でした。困難を乗り越えることで私の性格も変わったと思います。ここで提案がございます。皆さん、来年の 20 回目には一緒に参加しませんか。きっと、皆さんで参加すれば必ずや連帯感が増すと思います。これをお祝いの言葉とさせていただきます。

拡大委員 田辺芳彦様

皆さん、おめでとうございます。私の思い出は、10 月の創立まで色々あったなという感じです。当初、秋山さんは RC のバッチはつけない。RC の歌は歌わないなど、唐澤代表とバトルを交わしていましたが最終的には唐澤代表の思いが詰まったクラブが誕生しました。こうして記念日を迎えることが出来た本日、雨ですが、きっと唐澤さんの喜びの涙ではないかと思いません。これからますますのご活躍を祈念いたします。

拡大委員 曾根原今朝敏様

創立記念日、おめでとうございます。パワー浜松の例会は朝ということで、朝の意気込みが重要な意味を持つと感じています。

13 年目を迎えた皆さんに改めて聞きたいことがあります。この 1 年、自ら感激、感動をしていますか。また、人に感激、感動を与えていますか。実はロータリアンの素晴らしいことのひとつに人間関係を深めるといふことがあります。人と感じ合える場としてのロータリーを通じて成長して頂き、10 年 20 年、いや 30 年後のロータリアンのお手本になって欲しい、クラブもそんな動きをして行って頂きたいと思えます。本日は本当におめでとうございます。

パワー浜松 RC 長谷川博久会員

創立当時のキーメンバーのひとりとしてお話をします。

いちばん最初の仕事はクラブの名前からでした。色々な名前の候補がありましたけれど、最後は目をつぶっての挙手で決まりました。秋山代表の「power breakfast を一緒に食べよう」が名前の由来だったと思います。浜松中 RC のアドバイスも頂き、メンバー集めが進んでいきました。その当時の浜松中 RC のサポートに心より感謝を申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。

